

Plus⁺

Vol.2

安江一勢税理士事務所

Management information

11
2021

Business plus

“勝つ”ことよりも
“負けない”ことにフォーカス

“勝つ”ことよりも“負けない”ことにフォーカス

“戦わずして勝つ” ＝“負けない戦いをする”

経営者やビジネスマンの中でも好まれている戦略書である「孫子の兵法」では「戦わずして勝つ」という教えがあります。ソフトバンクの創業者である孫正義さんが参考に使っているという話は有名ですね。私も、孫子の兵法がとても好きなので、よく学んでいます。

今回は、その孫子の兵法の中にある「戦わずして勝つ」という教えを読み解いていきます。

「戦わず勝つ」とは、つまり、「負けない戦いをする」ということです。

例えば、あなたがアパレルショップを開くとしたら、その時に、天下一の「ユニクロ」の隣にそのお店を出したら、どのようになるでしょうか？

おそらく、そのお店の商品ラインナップがユニクロと同じようなものであれば、うまくいく確率は低いでしょう。なぜなら、ユニクロと戦う必要があり、そして、強いユニクロに負けてしまうからです。

しかし、ユニクロの隣に出しても、うまくいく可能性もある場合があります。それが「ユニクロとは全く違う商品ラインナップ」である場合です。

高級ブランド専用、マタニティウェア専用、和服専用など。この分野だけなら、必ず勝てるというものがあれば、たとえ隣にユニクロがあったとしても、市場ニーズが合っていれば、ユニクロにも勝てます。

ただ、厳密に言えば、ユニクロには勝っていません。というより、戦っていません。

ユニクロのコンセプトは「究極の普段着」です。そのため、相手にする客層が交わってなければ、ユニクロと戦う必要がないのです。

同業者と違った戦い方が ビジネス成功の鍵

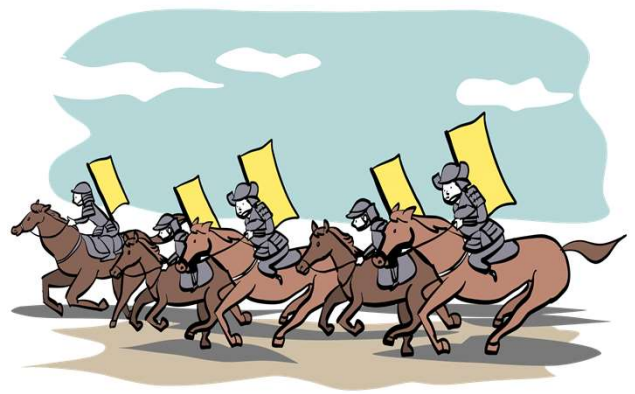
そして、これはアパレル業界だけの話ではありません。どの業界でも同じことがいえます。どれだけ同業者で強い会社やお店があったとしても、コンセプトや分野、専門性で尖ったものがあれば、同業者と戦うことなく、ビジネスを成功させることができます。これが、「戦わずして勝つ」「負けない戦いをする」ということです。

ビジネスを展開していく上で、勝つことにフォーカスをしすぎると、よく分からなくなってしまうことも多いものです。しかし、負けないことにフォーカスをしたらどうでしょうか？

「うちはここだけは負けない」「この分野ならライバルが弱い」と、ビジネスを成功させるためのヒントが見えてくるのでしょうか？

私も新たなビジネスを始めるときには、この「負けない戦い」を常に意識をしています。

「自分ができる負けない戦いは何だろう？」と思いながら、ぜひ一度、ご自身の経営戦略の見直しを行ってみてくださいね。



淡泊な人にアイデアの神様は微笑まない

(森岡毅 実業家)

日本を代表するマーケッターである森岡毅さんは、潰れかけていたユニバーサル・スタジオ・ジャパン (USJ) をV字復活させた方です。

今でこそ、大人気のテーマパークであるUSJですが、過去は入場者数が年々減っていて、経営的に厳しい時期がありました。

そんな時期に、託された森岡さんは、ハリポッターエリアやハロウィンイベントなどの独創的なアイデアによって、見事に再生を果たし、USJの改革に着手してから5年間で、入場者数を倍に引き上げました。

現在は、沖縄にテーマパークを作るべく、さまざまなアイデアを重ねながら、順調に進めているそうです。

そんな森岡さんが言っていた言葉が「淡泊な人にアイデアの神様は微笑まない」というものです。

私たちは、いつも通りをただ過ごすだけでは、どうしても淡泊になってしまいます。そのため、いろいろなものを見て、いろいろなことを知って、価値観を広げていくことで、今までの自分では思い付かなかったアイデアを生むことになっていきます。

森岡さんの常人では思いつかないような天才的なアイデアは、普段の日常を深く過ごすことで生まれているのだろうと感じました。

ビジネスには「新鮮なアイデア」が欠かせません。アイデアの神様に微笑んでもらえるように、これからは今以上に意識をして、クリエイティブに生きていきましょう。

Personal plus

電子書籍出版がモデルのドラマ

毎週木曜日の22時より放映されているドラマ「SUPER RICH」はご覧になっていますか？

普段はあまりドラマを見ない私も、このドラマだけは最初から見えています。

なぜなら、このドラマは電子書籍出版を支援する会社を経営する社長のストーリーだからです。

ただ、電子書籍といっても、この会社が主に行っているのは漫画の方です。

最近では、漫画を読むのも電子派という人も増え、私も毎日の息抜きとして、よく電子で漫画を読んでいます。

どこでも・好きなときに・スマホひとつで読めるというのが電子書籍の良いところです。

ドラマの作中でも「これからは電子書籍の時代」と言われるほど、普及率が高まりつつある電子書籍。

サスティナブルなものが好まれる現代において、ペーパーレスな電子書籍は益々着目を浴びていくことでしょう。

「自分は紙派だから」ではなく、「電子でも読んでみよう」と、ぜひ挑戦をされてみてくださいね。

さて、話は戻りますが、私はこのドラマを毎週見ることが楽しみなほどハマってしまっています。

ビジネス的な要素もあるので、勉強になる部分も多いですが、同時に良い息抜きとなっています。

「その日はドラマがあるから早く仕事を切り上げよう」と朝から生産性を上げて、仕事ができているのも良い影響ですね。

見逃し配信もできるようになっているので、SUPER RICHを今からでも、ぜひ見られてみてくださいね。



最後に余談をひとつ…!

先日、リフレッシュ休暇も兼ねて、博多駅近くにあるリゾートホテルの「ウィズザスタイル福岡」に宿泊をしてきました。さすが、高級リゾートホテルなだけあって、サービスの質も部屋のこだわりも空間づくりも食事も、すべてが素晴らしかったです。まさしく、非日常体験の連続。毎年泊まりに行きたいくらいに、気に入りました。

ただ正直、食べ過ぎた上に、飲みすぎました(笑)朝食も昼食もビッフェがついており、部屋のビールやワインなども飲み放題だったので、テラスやジャグジーで飲みながら過ごすという優雅な時間を満喫しておりました。さすがにチェックアウトが名残惜しかったです。ギリギリいっぱいまで、幸せな時間を楽しませて頂き、おかげさまで良いリフレッシュになりました。

あなたも、機会がありましたら、ぜひご利用を試してみてください。「金額以上の価値がある」と思えるほど、良い空間と時間をお受け取りになれるかと思えます。

さて、今年もあと少し。あなたにとって、2021年はどんな1年でしたでしょうか？年始に立てられた目標ややりたかったことなどは、無事達成できていますでしょうか？



今月のお知らせ

年末といえば、楽しみにされている方も多いものが「ふるさと納税」ではないでしょうか？住んでいる場所とは違う場所に納税をすると、特産品をもらえるというもの。私も毎年楽しみにしています。選ぶことも届いてからも楽しいですね。もしも、まだされたことがない方はぜひ今年からでもチャレンジをしてみましよう！

あと1ヶ月。これをあと1ヶ月と捉えるか、まだ1ヶ月と捉えるか。1ヶ月あれば、案外いろいろとできてしまうものです。「終わり良ければ、すべて良し」という言葉もあるように、どう終わるかが重要です。2021年を良い1年だったと思えるように、来年につながるラストスパートをかけていきましょう。

ただし、くれぐれも体調にはお気をつけて、無理のないように。これから忘年会シーズンにもなっていくますので、お酒の飲み過ぎや食べ過ぎにはご注意くださいね(笑)

今月号のPlus+もお読み頂き、ありがとうございました！



なお、ふるさと納税の期限は、12月31日までに支払った分ですので注意しましょう。限度額もあり、その金額は各個人の利益によって変わってきますので、詳細はまた監査の際にお聞きください！私もまだ今年分は選んでいないので、楽しみながら選んでいこうと思います。

執筆：安江一勢
作成：LUCE出版編集部